

**子どもたちが「地域の未来」を考え、課題解決のアイデアを形に
地域密着型・探究成果発表イベント「探究フェス 2026」を全国 7 会場で開催
9 月 5 日の神奈川を皮切りに、ロボットやプログラミングを通じた探究の場を提供**

教育事業を展開するヒューマンアカデミー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：田中 知信、以下「当社」）の児童教育事業「ヒューマンアカデミージュニア」は、一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所：Research Institute of STREAM Education for Creating the Future（略：RISE）（所在地：東京都新宿区、代表理事：長谷川 直之、以下「RISE」）が主催する地域密着型の探究成果発表イベント「探究フェス 2026」に協力します。

「探究フェス 2026」は、小学 1 年生から高校 3 年生までを対象に、子どもたちが身近な地域の課題や「もっとこうなったらいいな」という思いを起点に、ロボットやデジタル技術などを活用してアイデアを形にし、発表するイベントです。

各会場では、子どもたちが地域や社会の課題について考え、ロボットやデジタル技術を活用して生み出したアイデアや作品を発表します。また、一般社団法人デジタル人材共創連盟が展開する「全国情報教育コンテスト」を合同開催し、子どもたちの多様な探究成果を地域社会に向けて発信します。

【本件のポイント】

- 子どもたちが地域や社会の課題を「自分ごと」として捉え、調査と試行錯誤を重ね、ロボットやデジタル技術を活用したアイデア・作品として発表
- 自治体、教育委員会、大学、企業、学校などと連携し、学校外で探究成果を発表・体験できる場を全国各地に展開
- 2026 年 9 月 5 日（土）の神奈川・藤沢を皮切りに、12 月まで全国 7 会場で開催。ロボットやプログラミングなどの体験プログラムも展開



■背景

現行の学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が掲げられています。また、高等学校の「総合的な探究の時間」では、実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自ら課題を立て、情報を収集・整理・分析し、まとめ・表現する探究的な学習が重視されています。（※1）

RISE は、子どもたちが身近な地域や社会について考え、自らのアイデアを形にして発表する機会として、「探究フェス 2026」を全国 7 会場で開催します。自治体、教育委員会、大学、企業、学校など、地域の多様な主体との連携を通じて、子どもたちが地域や社会とつながりながら学び、その成果を発表・体験できる場を創出します。

当社は、全国で展開するロボット・プログラミング教育の知見とネットワークを生かして本イベントに協力し、子どもたちが自ら問いを立て、考え、試行錯誤し、その成果を社会に向けて発信する探究的な学びを支援します。

（※1）文部科学省「平成 29・30・31 年改訂学習指導要領」および「高等学校学習指導要領」

■「探究フェス 2026」について

「探究フェス 2026」は、「地域の未来を、ロボットでつくる」をテーマに、子どもたちが自分たちの暮らす地域について問いを立て、調べ、考え、ロボットやポスターなどを通じてアイデアを形にし、その成果を発表する地域密着型の探究成果発表イベントです。

各会場では、ロボットコンテスト、ポスターセッション、デジタル作品の発表、ロボットやプログラミング等の体験プログラムなどを展開します。自治体、教育委員会、大学、企業、学校などと連携し、それぞれの地域特性や課題を取り入れたテーマやプログラムを実施します。



※会場構成のイメージです。

●「ロボットコンテスト」

地域課題を解決するためのアイデアを考え、ロボットを設計・製作。試行錯誤を重ねて完成させた作品について、子どもたち自身がプレゼンテーションを行います。



●「ポスターセッション」

子どもたちが取り組んだ研究や地域をより良くするためのアイデアなどをポスターにまとめ、来場者や地域の人々との対話を通じて発表します。



●「体験ブース」

ロボットやプログラミング、サイエンス、アートなど、子どもたちが実際に見て、触れて、つくりながら学べるワークショップなどの体験機会を提供します。



■2026 年 9 月 5 日（土）開催！「探究フェス 2026 かながわ」

全国 7 会場で開催する「探究フェス 2026」の第 1 回となる「探究フェス 2026 かながわ」を、9 月 5 日（土）、藤沢駅から徒歩 2 分のロボット企業交流拠点「ロボリンク藤沢」で開催します。

コンテストでは、小学生が「ミライの藤沢・鎌倉の乗り物を考えよう！（モビリティ）」をテーマに、未来の乗り物を自由に発想します。中学生・高校生は、「防災・減災」「観光・地域文化」「一次産業の支援」「福祉・共生社会」からテーマを選び、地域をもっと良くするためのアイデアを発表します。



■当日参加 OK！ロボット・プログラミングなど親子で楽しめる多彩な体験プログラム

会場では、ロボットやデジタル技術を「見る」だけでなく、実際に操作したり、つくったりしながら楽しめる体験プログラムを展開します。

お相撲ロボットの対決や、ロボットを操作して挑戦する「あめのつかみ取り」、ビジュアルプログラミング（※2）でつくられたゲームの体験、UVライトを使ったオリジナルキラキラシールづくりなど、子どもたちが気軽に楽しめる内容を取りそろえました。

（※2）命令が書かれたブロックなどを組み合わせ、視覚的な操作でプログラムを作成するプログラミング手法

コンテストへの事前エントリーをしていない方も、当日参加できるプログラムやワークショップを多数予定しています。気になる体験を見つけて、ぜひ会場で「つくる・動かす・考える」楽しさに触れてみてください。

詳細は公式サイトをご覧ください。

「探究フェス 2026 かながわ」公式サイト

https://www.rise.or.jp/tankyu_fes/kanagawa/



ビジュアルプログラミングでつくったゲームを体験！



自分だけのオリジナルのキラキラシールをつくろう！

【探究フェス 2026 かながわ開催概要】

開催場所	ロボット企業交流拠点ロボリンク藤沢内 神奈川県藤沢市藤沢 559 番地 角若松ビル 6 階（藤沢駅北口徒歩 2 分）
日時	2026 年 9 月 5 日（土）10:00～17:00 （受付開始 9:30 / 雨天決行）
参加費	無料（一部のワークショップは材料費が必要な場合があります）
申込方法	ワークショップなどは当日受付参加可能です。
後援	神奈川県教育委員会、鎌倉市教育委員会、藤沢市教育委員会

■「探究フェス 2026」全国開催概要

名称	探究フェス 2026
開催期間	2026 年 9 月 5 日（土）～12 月 27 日（日）
対象	小学 1 年生～高校 3 年生 ※対象学年・参加条件等は各会場・プログラムにより異なります。
主催	一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所（RISE）
共催	一般社団法人デジタル人材共創連盟
協賛	全国農業協同組合連合会（全国 7 会場） ※会場ごとに協賛企業・団体が異なります。
協力	ヒューマンアカデミー株式会社
メディア協賛	コエテコ byGMO

【「探究フェス 2026」全国開催スケジュール】

日程	開催地	開催場所
2026 年 9 月 5 日（土）	神奈川	ロボリンク藤沢
2026 年 10 月 24 日（土）	大阪	南港 ATC アジア太平洋トレードセンター
2026 年 11 月 3 日（火・祝）	仙台	夢メッセみやぎ
2026 年 11 月 7 日（土）・8 日（日）	福岡	GYMLABO（ジムラボ）
2026 年 11 月 14 日（土）	北海道	内田洋行 コビキタス協創広場 U-cala
2026 年 12 月 12 日（土）・13 日（日）	愛知	愛知県国際展示場
2026 年 12 月 26 日（土）・27 日（日）	沖縄	沖縄コンベンションセンター

■今後の展望

当社は今後も、RISE との連携を通じて、全国で展開するロボット・プログラミング教育の知見とネットワークを生かし、学校での学びと地域・社会をつなぐ探究的な学びの機会を全国各地に広げてまいります。自治体・大学・企業・学校など地域の多様な主体との連携を深め、未来を担う子どもたちの創造力や課題解決力の育成に貢献してまいります。

■一般社団法人未来創生 STREAM 教育総合研究所（RISE）について

ロボット教育のもつ学びの可能性を提示し、客観的に評価する協会団体「一般社団法人 未来創生 STREAM 教育総合研究所（略：RISE）」を 2024 年 6 月に設立しました。社名にある STREAM 教育とは、STEAM 教育



（Science: 科学、Technology: 技術、Engineering: 工学、Arts: 教養/創造性、Mathematics: 数学）に Robotics（ロボット技術）の R を加えたもの。R には Reality（現実性）や Reviewing（評価）などの意味もあり、今後ますます複雑化する社会を生き抜くための教育方法です。

コンテスト運営や検定運営など、教育機関や教育関係者、企業パートナーと連携しながら、ロボット教育が与える子どもの成長を評価し、次世代を担う子どもたち一人ひとりが持つ無限の可能性を育み、未来のイノベーターを生み出す契機となることを目標としています。

公式サイト：<https://www.rise.or.jp/>

■取材・本件に関するお問い合わせ■ ヒューマンアカデミー株式会社 広報担当 原・高橋
E-mail：ha_info@athuman.com

■「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」とは

「ヒューマンアカデミージュニア ロボット教室」は、ロボットクリエイターの高橋智隆氏をアドバイザーに迎え、2009年6月にスタート。未就学児（5～6歳）から中学生を対象に全国で展開し、教室数は2,000教室以上、在籍生徒数は27,000名を超えるロボットプログラミング教室です（※2026年3月末時点）。5歳から中学生までお子さまの年齢に合わせたさまざまなコースをご用意しており、「プレプライマリーコース」「プライマリーコース」「ベーシックコース」では、動くロボットを自ら作り上げ、試行錯誤を繰り返しながら構造や動きの仕組みを学びます。「ミドルコース」「アドバンスコース」では、さらにマイコンブロックやセンサーが追加され、専用タブレットを用いたビジュアルプログラミングでより複雑な動きを実現します。



子どもたちに科学の驚きと感動を与え、楽しく夢中になってロボット製作に取り組むうちに、新しい時代を生き抜く上で必要となる学びの基盤となる力が養われているというプログラムです。

●公式サイト URL : <https://kids.athuman.com/robo/>

■ヒューマンアカデミーについて <https://manabu.athuman.com/>

ヒューマンアカデミーは、学びの面白さを提供する「Edutainment Company」として、1985年の創設以来、時代や社会の変化にあわせながら800以上の講座を編成しました。未就学児童から中高生・大学生・社会人・シニア層とあらゆるライフステージにおけるSTEAM教育やリスキリング、学び直しの支援を行っています。



さらに、独自の「ヒューマンアカデミーGIGA スクール構想」を推進し、学習支援プラットフォーム「assist」を開発。SELing サポートカウンセラーと講師が、個別に学習目的や目標にあわせた進捗管理や相談などの学習サポートをします。私たちは、常に最先端の教育手法やテクノロジーを取り入れ、学びの喜びを追求し、質の高い教育サービスを提供していきます。

■ヒューマングループについて

1985年の創業以来「為世為人（いせいいじん）」を理念に掲げ、教育を中核に人材、介護、保育、IT、美容、スポーツと多岐にわたる事業を展開しています。

深刻な社会課題である「労働人口減」に対し、各事業の専門性を活かした4領域で解決を推進しています。教育・人材事業による「海外人材の活用」「成長産業分野の専門教育と労働移動」、介護（通所・訪問・ホスピス等）や保育・学童運営による「国内労働力の確保」、RPA・AI・IT活用を通じた「生産性の向上」に注力。SDGsへの貢献を通じて、誰もが自分らしく生き、学び、働ける社会の実現と、時代に即した労働環境の革新に取り組んでいます。



●ヒューマンホールディングス ウェブサイト : <https://www.athuman.com/>

会社概要

ヒューマンアカデミー株式会社

●代表者：代表取締役 田中 知信 ●所在地：東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア 1階
●資本金：1,000万円 ●URL：<https://manabu.athuman.com/>

■本件に関するお問い合わせ ■ ヒューマンアカデミー株式会社 担当 原・高橋
E-mail : ha_info@athuman.com

■ヒューマングループに関するお問い合わせ ■ ヒューマングループ 広報担当 若林
E-mail : kouhou@athuman.com